

ゴッド  
ラブズ  
ミー

KEITH MOORE 著



# ゴッド・ラブズ・ミー

KEITH MOORE 著

ゴッド・ラブズ・ミー

Copyright 2018 キース・ムーア  
復刻版2022年、2020年

ISBN: 978-1-940403-01-4

BKS25

ムーアライフ・ミニストリーズ  
6009 ビジネス・ブールバード  
フロリダ州サラソタ市 34240  
941-702-7390  
[www.mlm.org](http://www.mlm.org)

特に断りのない限り、本書で引用する聖句はすべて共通英語版聖書から引用しています。  
。

## ゴッド・ラブズ・ミー

ガラテヤ5:6には、“割礼を受けたか受けないかは、キリスト・イエスにおいて重要ではなく、愛によって働く信仰が重要である。”とあります。価値あるのは外見的事業ではなく、外見的な儀式や行いです。価値を持つのは信仰です。節には、“Faith working through love”とあり、Amplified Bibleでは、“Faith activated... through love”とある。別の訳では、“愛によって活動する信仰”とあります。信仰は愛によって働きます。それは、愛を通して、愛によって作動し、活性化される。信仰と愛には関係があるのでしょうか？愛が作動していないと、信仰に影響が出るのでしょうか？はい、そうなります。ですから、信仰を考えるとときには、愛について考える必要があります。

愛があるべきようにならないのなら、信仰もあるべきように働かない。

1ヨハネ4章は、愛に関するとてもいい箇所です。7-9節には、「愛する友よ、互いに愛し合おう。愛は神から出たものであり、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているのだから。神は愛であるから、愛さない人は神を知らないのである。このようにして、神の愛が私たちに明らかにされるのです。神は、私たちが彼によって生きることができるよう、そのひとり子をこの世に遣わされたのです。昔も今も、神の愛の顕現がある。10節は続けて、「これが愛です。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちに愛し、私たちの罪を処理する犠牲として御子を遣わされたのです」と述べています。親愛なる友よ、神がこのように私たちに愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきである。”

1ヨハネ4:17には、「このように愛が私たちの中で完成したのは、私たちが審判の日に確信を持てるように、私たちがこの世にいる神と全く同じであるためです。愛と大胆さには関係があるのでしょうか？自信や大胆さは、信仰と結びついているのでしょうか？そう、そしてそれらはすべて愛でつながっているのです。18節でさらに説明しています。“愛に恐れはない...”恐怖はありません。もし、まったく恐れがなく、ただ自信と大胆さがあれば、あなたは信仰を持つことができますか？そう、そしてそれが愛の結果なのです。さらに、「完璧な、つまり完全な、“愛は恐れを追い出す”」と述べています。キャストという言葉は強いですね。着地点を気にせず投げる」という意味ですが、それは愛が恐怖に与えるものです。愛は恐怖をここから放り出す。それが好きなんです。”完全な愛は恐怖を追い出す。恐怖は苦しみを予期するからだ。“恐怖心が苛まれる。請求書が支払われないことを恐れているとき、仕事をしようとしているとき、家の中のことをしようとしているとき、恐怖が心の奥底でうずくまるのです。そして、恐怖は人間関係に影響します。

だから、多くの人々が経済的なプレッシャーで窮地に立たされ、ストレスを感じている。“もうダメなんじゃないか”という不安でしかない。お金が間に合わないのではないかと、足りないのではないかと、という不安です。また、自分の体について、「このまま良くならないのではないかと」「もっと悪くなるのではないかと」という不安を抱いているかも

しれません。中途半端に死んでしまうのではないか、早死にするのではないか、という不安です。

それに屈すれば、その恐怖は起きている間中、あなたのそばにある。夜中に目が覚めそうです。それは苦しめるものであり、神からのものではありません。神は私たちに恐怖の精神を与えなかった。

何が恐怖を取り除くのでしょうか？完全な愛です。フルラブが投げ出す。それは、あなたが大胆になるように、それを追い出し、押し出す。その響きがいいんですよね。神の愛と神の信仰は切っても切れない関係です。操作上、切っても切り離せない存在です。パウロは、2テモテ1:12で「...私は、私が信頼を置いている方を知っています」と言いました。神様は、その日まで私の信頼に足るものを守ってくださるだけの力があると確信しています。“私は誰を信じたか知っている。信仰とは、原理原則や律法主義的な儀式やルーチンを精神的に守ることではありません。信仰とは、その言葉を発したお方を知ることです。私は彼を知っている。しかし、私は彼を知っており、彼は私を知っています。私は、彼が言ったのなら、それに頼って、その上に建物を建てることができるということを、彼について十分に知っています。頼もしい限りです。神は愛であるため、彼を知ることは愛を知ることである。

多くの場合、「完全な愛は恐れを追い出す」「信仰は愛によって働く」という言葉を聞くと、「愛を持って行動すれば、信仰が働く」と考える人が多いようです。それは確かに真理であり、その一部ではあるのですが、ただそう言うだけでなく、それに限定したわけでもないのだそうです。信仰は、その全体が愛によって働くと。ですから、この聖句を、他者との愛の歩みとそれが信仰に与える影響だけに限定しないでください。確かにそうなのですが、何よりもまず、神様にどれだけ愛されているかを理解する必要があります。

神の愛、あなたの神への愛、あなた自身への愛、そして仲間への愛が、すべて信仰の営みの中で連動しています。私の信仰心を揺さぶり続けているのは、主が私をどれほど愛してくださっているかということ、より深く知ることができたからです。私のことを本当に大切に思ってくださっていることがわかると、信仰心が湧いてきて、私が特別だからではなく、主が私を愛してくださっているから、必ず成功すると思えるのです。私の側には大きな誰かがいる。

数年前、私はドーベルマンを飼っていたのですが、大きくて立派なドーベルマンでした。体重は110キロくらいだったと思います。夜に会わない方がいい人です。威圧感のある大きな犬で、私の愛犬だったから大丈夫だったんですけどね。でも、よそ者は大丈夫じゃなかった。この犬はずっと私と一緒にいた。私のトラックの荷台に乗り、私のfrisbee®をキャッチし、私の荷物を守ってくれました。でも、知らない人が来たら、私が見ていないと、彼が捕まえてしまうし、警告もしないんです。背後から近づいてきて、気がついたら捕まっているんです。

ある日、何人かの営業マンがやってきました。私は知らなかったのですが、彼らは車で引き上げていたのです。愛犬は車の後ろに回り込んで、二人の後ろに忍び寄りました。窓を開けていたのですが、頭を突っ込んで見て、うなり声をあげました。あの車、サンルーフにするんじゃないの!? 出て行って、帰ってこない。

またある時は、友人が小さなお子さんを連れて来てくれました。その子は2、3歳くらいだったでしょうか。車から降りると、そこには私の愛犬がいた。まあ、この小さい子は怖かったですけど。明らかに! その犬はとても威圧的に見えたが、*実際そうだった*。しかし、彼の父親は大柄で、小さな男の子は父親の後ろを走り回り、片足の後ろを覗き込んでいるような感じでした。

私は犬に話しかけ、そして、大丈夫だよと言った。友人は手を伸ばして小さな息子を捕まえ、「息子よ、心配するな」と言った。迷惑をかけないようにする彼は元気です。出てきてください。”だから、小さな男の子は彼の目の前に出てきたんだ。今までは、パパに触れるくらいの距離でいたのに、一気に大胆になりましたね。私は彼の恐怖心が薄れていくのを見て、歩み寄り、手を伸ばし、その犬の鼻に触れましたが、片手はパパに触れられるようにしておきました。なぜ、彼の恐怖心が薄れていったのか。なぜなら、偉大なビッグダディが彼に語りかけ、”大丈夫だ、息子よ”と言ってくれたからだ。

さて、ここで理解していただきたいことがあります。父親は、「さあ、息子よ、約束しよう、この大きくて悪い犬に悩まされることはない」と言ったわけではありません。そんなことは一言も言っていない。彼はただ「出ておいで」と言っただけで、この少年はパパに愛されていることを知っていたので、何も言う必要がなかったのです。自分を愛しているという自覚があったからこそ、自分を見守り、守り、面倒をみってくれるのだと。

神様に愛されていることを*知れば*、疑問が解消されますよ。悔しさや迷いを取り除いてくれそうです。神様は私を癒してくれるのでしょうか」と質問する人は、神様がどれだけ自分を愛してくれているかを知らないし、そうでなければ質問することもないでしょう。”神様は私の支払いを助けてくれるのでしょうか? 神様は私が巻き込まれるのを助けてくれるのでしょうか? 遅れています。神様は私が借金をするのを助けてくれるのでしょうか? どうだろう、御心だと思う?”それを聞くということは、本当に彼を知らないということです。救われてないとは言っていないが、あなたは本当に主を知らないのだ。主がどれほどあなたを愛しているか知っていれば、そんなことは尋ねないはずだからだ。

主の能力を信じるだけでは不十分なのです。マルコ1章40節に登場するレパーを覚えていますか? 彼は主に言った。”もしあなたがそうしてくださるなら、私をきれいにする事ができると知っています”。彼は、主がそれをできると確信していたが、主がそうするかどうかはわからなかった。多くのクリスチャンがそう思っている。神には癒す力がある、あるいはニーズを満たす能力があると信じているが、神が自分のためにそれを行ってくれるとは確信していない。その人がどれだけ能力を持っていても、どれだけリ

ソースを持っていても、それを自分のために使ってくれると確信できなければ、受け取る信仰を持つことはできません。

しかし、神がどれほどあなたを愛しているかを知れば、神がなぜその能力を使うのか、なぜ私たちを創られたのかがわかるのです。“主は忠実な愛を喜ばれる”とミカ7:18に書かれています。やりたいと言っています。楽しんでやっている。これは、彼のものです。“どういう意味ですか？”と聞かれるかもしれません。さて、神様は何がお好きなのでしょう？あなたには好きなことがあるけれど、神様は何が好きなんだろう？慈悲を示すことを喜びとしておられるのです。神様に言わせれば、*Oh, yeah! 私はこれを楽しんでいます！*誰かが彼を信じる時、あるいは誰かがドアを開けて、彼ができることを彼にさせてくれる時。その目は全地球をくまなく見渡し、神は良いスキャナーを持っている。彼は地球をスキャンして、彼に心を寄せる人を探しています。主は、信じる人を探しておられるのです。そうすれば、主はその人に代わってご自分を強く示し、その人のために何か、つまり「神サイズ」のことができます。(第2歴代誌16:9)それができたとき、主は「おお、そうだ！」と言われます。好きなんです。“彼はそれを喜んでる。

悪魔は、神について教会と世界に嘘をつきました。教会の多くは、神は人類にそれほど関与していないとほのめかしてきました。そして、私たちが失敗するのを知りながら、ただそれを見守り、私たちが失敗して裁きが下されるのを待つだけです。世の中の多くの人は、教会が言ってきたことで、神に対してこのような印象を持っています。

でも、神様は私たちを愛してくれています。本当に、本当に私たちを愛してくれているのです。私たちのことを気にかけてくれている。頭髪の本数などを監視しているのです。(マタイ10:30)私の頭髪の本数は数えていませんよね？私も大切な人の頭髪の本数は把握していませんよ？でも、そうしてくださるのです。

考え方が霧散して、“神様はこんなことを気にしているのかな”と言う人もいます。ある程度信仰の根拠がある人でさえも、主を疑ってしまう。物事が進み、自分たちが望む、あるいは必要だと思うほど早く変化したり起こったりしないとき、敵は肩に座って「神様は本当は気にしていない」と言うでしょう。もし本当に気になるのなら、何かしているはずだ。もし本当に気にかけておられるなら、こんなに長くは続かないはずです。こんなことはないだろう。“決して、そのような考えを抱いてはいけません。嘘だ！

神はあなたのことを気にかけています。もしあなたがシナリオの全体像を見たなら、神はあなたが求めた以上にあなたに慈悲深かったことがわかるでしょう。だから、全体像が見えないことが多いんです。あなたの祈りを聞いてくださっています。あなたの信仰に敬意を表しているのです。あなたのためにやってくれているのです。してくださっているのです。彼はあなたのために良い計画を立てています。そして、もしあなたが彼と一緒にいるのであれば、あなたは良い場所に行き着くことができるでしょう。



しかし、悪魔はそれを知っているのです、あなたの交わりを乱し、妨げようとするのです。たとえあなたが声に出して物事を疑わなくても、心の奥底でこのような疑問が頭をもたげることが望んでおられるのです。「なぜ、神はそのようなことをされたのだろうか？なぜ、それを許されたのでしょうか。なぜ、このような事態を放置されたのでしょうか。なぜ、もうやったださららないのでしょうか？ただ、理解できないんです。”疑問を持つのはいいのですが、主の愛を疑うのはダメです。そして、主の誠実さを疑ってもいいわけではありません。

弟子たちがボートに乗っていたとき、イエスが背もたれの枕で眠っていたことを思い出してください。嵐が起きた。激怒しました。ついに弟子たちはイエスのもとに行き、イエスを揺さぶり、「イエス！」と言った。イエス、起きろ！私たちが死んでいくのを気にしないのですか？私たちがここで滅びようとしていることを、あなたは気にしないのですか。立ち上がって対応したのですが、彼らを見て「なぜそんなに恐れているのか」と言われました。どうして信仰がないのですか？”(マルコ4:37-40) あなたはこの問いに答えることができますか？なぜ、あんなに恐怖に満ちていたのだろうか。なぜ彼らは信仰を持たなかったのでしょうか。彼らは、主の愛に疑問を抱いていたのです。彼らは愛において完全なものとされておらず、「神様、あなたは気にならないのでしょうか」と疑問を抱いていました。イエス！私たちが溺れている間、そこで寝ているつもりなんですか？気にならないのか？それは神への侮辱である。

常に神様の味方であり続ける物事がわからないとき、なぜか、どうしてかわからないとき、涙や疑問があっても、神様を見上げて、「主よ、私は理解できませんが、このことは知っています。あなたは私に忠実です。あなたは私を愛してくれた、そしてこれからも私を愛してくれる、決して私を失望させない。私の目はあなたに注がれている。あなたを信じています。あなたを頼りにしています。”彼はあなたを愛している。

このことを理解すればするほど、あなたの信仰心はどんどん高まっていくことでしょう。あなたが知っているのは、あなたが逃げたものが、あなたの父の目の前で、その鼻に触れるだけで、近づいてくるものだという事です。目に焼き付けるのです。対処することになる。克服するのです。しかし、常に片手を父に添えておく。彼がすぐそこにいることを知るのです。主があなたをバックアップしてくれていることを知るのです。神様はあなたを愛しています。

主が何かをできると知っているだけでは不十分なのです。主がその能力と資源をあなたのために使ってくださいという説得力が必要です。律法主義的な告白のレジメに入る必要はありません。すべての動作に目を通し、1日に何度も行わなければ地獄に堕ちると恐れ、それはうまくいかないのです。ダメだ！もし、あなたがすべての“i”に点を打ち、すべての“t”を交差させなかったとしたら？彼はまだあなたを愛しています。あなたの心を知っている。あなたが持っている光の中で歩き、あなたが知っているベストを尽くしているなら、たとえ十分な知識がなくても、主はもっとあなたに見せてくれるでしょう。間違えたら正してください。

キース・ムーアは必ず成功すると確信しています！あなたも確信してください。私は自分のレースを全部走ると確信しています。喜びを感じながら全コースを終えるラインを越えて、リボンにぶつかる。なぜかわかりますか？神様が私を愛してくれているからです。

それが使徒ヨハネの主張であった。神が彼を用いてヨハネの福音書を書かせたことを覚えていますか？彼は、自分のことを“ヨハネ”や“使徒ヨハネ”と呼ぶのではなく、“主が愛した弟子”と呼んだ。誰のことを言ってるんだ？ジョンです。イエスの胸に頭を置いた弟子は誰だったのか？彼は、主が愛した弟子でした。ジョン」と言うのではなく、「ジョン」と名前を変えた。

あなたのお名前は？あなたも、“私は主が愛する弟子です”と言ってください。

今すぐ請求すれば、大きな利益を得られるでしょう。あなたは誰ですか？私は主が愛する者です。私たちは、彼が他の誰も愛していないと言っているわけではありません。あなたのためにあなたを愛してくださるなんて、信じられるわけじゃないじゃないですか。あなたのためにあなたを愛してくださるなんて、信じられるわけじゃないじゃないですか。言って、“彼は私を愛している”。ただ、それを言いまくる。“私を愛してくれている”。神様は本当に私のことが好きなんですね。彼は私のことが好きなんです。今朝は私のことを思ってくれているようです。今朝は私のためにいろいろと動いてくれています。彼は私のために計画を立ててくれています。”

私が成功すると確信しているのは、主が私を愛しているからです。何か必要なものがあれば、教えてくださる。わからなければ、また教えてくださる。3ヶ月間出なかったら、93回目に教えてくださるんです。必要であれば、音量を上げてくださるでしょう。もし必要なら、私のそばに4人の人を送って、こう言うでしょう。キース...ここに絵を描かせてください...そうしてくださると信じています。努力しないのではなく、必要なかどうかという話なんです。もし、私がつま先をぶつけて転んでも、拾ってくださると信じています。もし私が道を間違えたら、主は私を掴んでこう言うでしょう。キース、そっちじゃなくてこっちだよ。彼は私を助けてくれるでしょう。教えてくださる。訂正してくれる。私を導いてくださる。私を愛しているからこそ、やってくださるのです。

本当にそう思っているのなら、どうして「癒してくださるとは思えない」と言えるのでしょうか。それは矛盾していますね。“ああ、彼は私を愛してくれている。でも、彼が私の支払いを助けてくれるとは思えない。”そんなの通用するわけじゃないじゃないですか。私を愛しているならば、私を助けてくださるはずですよ。

神は私たちを愛している。神様に愛されていることがわかる理由をいくつか挙げたいと思いますが、この順番に特に意味はありません。

理由その1：聖書がそう語っているから、神様が私たちを愛してくださっていることがわかるのです。

本当にゆっくりと確認させてください。イエス様は私を愛してくださっている、そう思うのですが？ダメだ！これは知っています。なぜでしょうか？聖書は、他の本の話ではなく、聖書がそう教えてくれているのです。

エレミヤ31章3節には、「主は遠くから彼らに現れた。私は永遠に続く愛であなたを愛した。そして、揺るぎない愛をもって、あなたを私のもとに引き寄せたのです。“あなたは、”主よ、あなたは私たちを愛していますか？”と問います。そう、わたしは永遠の愛であなたを愛している」と言うのです。だから私は、慈愛の心で、あなたを引き寄せたのだ。”

何年前か前、私は床で祈りながら考えていたのですが、主は私にいくつかのことを思い出させました。私のためにしてくれたことを見せてくれたのです。あなたがたが私を選んだのではなく、私があるあなたがたを選び、任命したので、あなたがたは行って実を結び、その実が長持ちするようになったのです。その結果、あなたがたが私の名によって父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与えてくださる。“私たちの喜びが満ち足りるように、これらのことを言われたのです（11節）。“私があるあなたを選んだ”と言われました。それで、“祭壇の呼びかけに答えた”と思っていたんです。彼は、“キース、私は、あなたが聞いて反応できるようになるために、何年もあなたに働きかけました”と言いました。まあ、そうなんですけどね。

私は「RHEMA聖書トレーニングセンターに行きました」と言うと、主は「キース、私はあなたの信仰を、私があるあなたを養うことができると信じられるようにするために、何年もあなたに働きかけたのです」と言われた。そして、恵みを加え、力を加え、私たちを養い、鷲の翼で運んでくださったのです。

私たちは、「自分の信仰で良いことをしている」と思い、自分の知っている限りのことをしていたのですが、もし全体像を見ていたら、主が私たちを運んでくださっていることがわかったはずなのに、何度、そのようなことをしたでしょうか。“そうだ、私はあなたを愛してきたのだ”と言われました。

このことについては、ヨハネ福音書にも、第一ヨハネにも、たくさん書かれています。イエス様はヨハネ16:27で語られましたが、私たちはイエス様の言われたことが正しく、真実であることを知っています。彼は、“あなたが私を愛し、私が神から来たことと信じたので、父ご自身があなたを愛しておられるのです”と言いました。

ヨハネ17章では、イエスが祈っている。祈りが届くと信じていますか？ヨハネ17:23で、イエス様は「私が彼らの中にいて、あなたが私の中にいることで、彼らが完全にひとつになるように」と言われました。そうすれば、あなたが私を遣わしたこと、あなたが私を愛したように彼らを愛したことが、世に知れ渡るでしょう。“見えているのでしょ

うか？イエスは、“・・・それは、あなたが私を遣わされたことを世が知るためであり、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを世が知るためです”と言われました。父なる神がイエス様を愛し、愛しておられると信じますか？つまり、空から「これは私の愛する子、私がよく喜ぶ者である」と言う神の声を聞くことは、そうそうないことなのです。(マタイ3:17)しかし、ここで神は、今、神の中にいる私たちを、神が神を愛しているように、私たちも愛しているのだと教えています。理解しようとせず、ただ信仰によって信じること。

これを声に出して言うてみてください。 “イエス様を愛しておられるように、私も愛されています。”

このことを世の中に知ってもらいたいと。イエス様を愛しているように、あなたを愛し、私を愛していることを世界に知ってほしいと願っておられます。

第一ヨハネ3:1には、“私たちが神の子と呼ばれるべきで、父がどのような愛を私たちに与えてくださったかを見なさい...”とあります。今のは愛です。私は神の子なのです。あなたは神の子なのです。男性も女性も、みんな神の子なんです。

このため、私はサタンの会堂の人々（ユダヤ人だと言いながら本当はそうではなく、嘘をついている人たち）を、あなたの足元に来させてひれ伏させ、私があるあなたを愛していたことを悟らせる」と、黙示録3章9節で語っています。そう、私たちは今、批判され、嘲笑され、迫害され、“弱者”と呼ばれるかもしれません。私たちは「弱い」と言われ、「無知」と言われるかもしれませんが、このことが終わる前に、私たちの敵は足元に集められ、主は私たちを愛していることを皆に分からせてくださるのです。私たちを選んでくださったのです。

それが私たちの名声になるのです。“あなたは誰ですか？”私は主が愛する者です。高貴で高飛車、傲慢で凝り性、反抗的で教会を冒瀆するような発言をした人々について、主は彼らを連れてきて、あなたの靴に鼻先を近づけてこう言うのです。私は彼らを愛している」と言われる。そして、「そうだ、私を愛してくれているんだ。言ったでしょ！」

自分を守ったり、正当化したりする必要はないのです。私たちは、彼が私たちを愛していることを他の人に納得させる必要はありません。自ら実証していくのです。主は、今ここで、保護によって、愛によって、祝福によって、そうしてくださるのです。あなたが神と親しく歩めば歩くほど、神はあなたの人生に神の愛を現すことができるようになり、あなたを見る人々には神があるあなたを愛していることがますます明白になるのです。もし彼らがそうしてくれるなら、自分も彼らを愛していると示したいのです。私たちを祝福することを喜んでくださるのです。神様が私たちを愛していることを、私たちはどうやって知ることができるのでしょうか。してくださるとのことでした。

**理由その2：神の私たちへの愛は、世界の創造から明らかである。**

私たちをご自身の似姿、姿に似せて作ってくださったのです。聖書は、「世界の創造以来、神の見えない性質、すなわち神の永遠の力と神の性質は、神が造られたものによって理解されるため、はっきりと見えるようになった」と教えています。(ローマ1:20) 創世記1:31には、“神はご自分の造られたものをすべてご覧になった。”“それはこの上なく良かった。”とあります。そして、とても美味しいです

青少年や子どもたち、そして若い世代に、私たちは本当に取るに足らない存在で、地球は宇宙の中でそれほど大きな存在ではないのだと、全力で説得しようとしている混乱した盲目の科学者や研究者、哲学者たちがいます。私たち人間は高度に進化した動物に過ぎず、猿よりも特別な存在ではないし、地球も他のどの惑星よりも特別な存在ではないと言うのです。銀河がたくさんあるのに、私たちは本当にどうでもいい存在なんですね。

すべては、私たちが取るに足らない存在であると感じるように仕向けられたものです。それはどこから来たと思いますか？それが悪魔なんです。悪魔がうらやましいと言ってるんだ。彼は神の前にいたのだ。彼は、その愛と臨在の中にいることがどんなものかを知っています。しかし、彼は傲慢と反逆のためにそれを失いました。今、あなたと私は彼のプライム・デザイアであり、永遠に彼の愛の中にいるように運命づけられています。

でも、申し訳なさそうに言うておきますが、私たちこそ神様の本望なのです。それらの惑星がすべて存在するのは、地球が存在するためなのです。地球があるのは、私たちがここにいるためです。作ってくださったのです。だから太陽があるのです。だから、月があるんです。だから、他の惑星があるのです。私たちのためにあるんです。

科学者は「なんて傲慢なんだ」と言うでしょう。なんて無知なんだ。“いや、無知なのだ。今朝、太陽が輝いているのは、あなたのためなのです。世界が回っているのは、あなたのためなんです！海が砂浜に迫っているのは、あなたのためなんです！今の地球は、創世記の地球とは違うのです。落ちてきているのです。ひどく混乱させられています。しかし、落ちぶれた状態でも、元の美しさは残っているのです。もし、あなたが心で耳を傾け、あなたが見るなら、すべてのきらめく星が言っています、あなたを愛しています。すべての波が、*I love you* と言っている。すべての花、すべての木、すべて、創造物のすべての生き物が、愛していると言っているのです。全部、あなたのために作りました。あなたを愛しているからこそ、私が作ったのです。愛しています。だから、風が吹くのです。だからこそ、もう一息頑張れるのです。自分の心の声に耳を傾けてください。何を言っているのだろう？神様は、*I love you* と言っているのです。私たちを作ってくれたのです。

**理由その3：贖罪のおかげで、神様が私たちを愛してくださっていることがわかる。**

“神は、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。” “それは、神を信じる者が、滅びることなく、永遠のいのちを得るためである。”(ヨハネ3:16)

ローマ人への手紙5章8節には、「神は、私たちがまだ罪人であったときに、キリストが私たちのために死んでくださったという点で、私たちに対する愛を称賛し、あるいは示しておられる」とあります。”

エペソ2:4-5には「しかし、神は慈しみに富んでおられます。私たちが悪いことをした結果、死んでいたのに、キリストと共に生きるように導いてくださったのです。私たちに対する大きな愛のために、このようなことをされたのです。”

黙示録1章5節には、「キリストは...死者の中から最初に生まれた者であり、地の王たちの支配者である。私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放してくださった方です。”

また、聖書には、“愛は多くの罪を覆う”とあります。(1ペテロ4:8)

人間は罪によって、神との立場を売り渡し、権威を失い、地上での支配権を失ったのです。しかし、神は私たちを愛しすぎているため、それを持つことができなかつた。彼は私たちを取り戻さなければならなかつた。直してくれることになつたのです。耐えられなかつたのでしょうか。彼は、私たちが彼から離れ、滅び、剥ぎ取られ、降ろされることを持て余した。つまり、私たちは彼のクラスであり、彼の家族全体であり、支配し、統治しているということです。だから、主は計画を持っておられ、何世紀にもわたって、不可能に見え、サタンがそれに対抗していたとしても、この愛の計画を忍耐強く続けられたのです。預言者に預言させ、天使に働かせた。彼は、それが予定されたときに実現し、すべてが神の計画の結実に向かって並んでいることを見た。

時が満ちると、イエスが女性から生まれ、神は肉体的な領域で完全性を現した。彼の誕生は、世界に“I love you”と言つたのです。彼のすべてのメッセージは、愛と優しさの中にありました。その頃、人々はちょうど「法」を聞き慣れていたので。彼らは、神の裁きという律法主義的な解釈を聞いただけだつたりする。何よりも話題になりました。しかし、ここでは、誰かが姦通の行為で捕まつたときに、神の真の完全な性質が明らかにされます。“罪を犯していない者は、最初の石を投げなさい”。(ヨハネ8:7) 彼らは皆、立ち去つた。イエスは女を見て、“あなたを非難した人はいないのですか？”と尋ねました。彼女は“No”と言つた。彼は言つた。“私もそうだ。行って、もう罪を犯さないでくれ。”ハレルヤ。イエスがこの世に来られたのは、この世を断罪するためではなく、私たちが救われるためです。ああ、甘い贖罪だ！一番大切なもので私たちを買い戻してくださったのです。私たちは銀や金で贖われたのではありません。私たちは、小羊の尊い血、つまり神の命を宿した血で贖われたのです。神の命そのものが、私たちのためにこぼされ、注がれたのです。

すると、悪魔がやってきて、私たちには大した価値がないと言ひ放とうとするのです。その嘘を信じるのは相当な無知でないと無理でしょう？もし私たちにあまり価値がないのなら、なぜ神様は私たちのために多くのお金を払ってくださるのでしょうか。100万

円、10億円、1兆円という話ではない。世界中のすべての金貨は、1つの魂を買うことはできない。宇宙には、小羊の尊い血以外に、魂を買えるものはなかったのです。そして、それを支払ってくださったのです。流してくださり、支払ってくださいました。なぜでしょうか？彼はあなたを愛している。彼はあなたを欲しがっていて、あなたを取り戻すためなら何でも払うつもりでした。読みましたか？何でもいいからということでした。

どんな恐ろしい代償を払わされたか、ご存知ですか？イエス様は、見聞きしたことがないほど強い方ですが、庭では血の汗を流していました。彼は言った。“もし可能なら、この杯を私から過ぎ去らせてください。”と。(マタイ26:39)しかし、私たちを買うことができるものは他になかったのです。他の何ものも私たちを得ることはできない。そこで、お父様は、私は彼らが欲しいのだ、とおっしゃいました。持たないといけないんです。それが私の一番の願いです。してください。

イエス様は、私たちのすべてを犠牲にすることになるとわかって おられましたが、父なる神様は、やりなさいと言われ ました。

イエスは、それがひどい値段であることを知っていた。しかし、イエスの父は、私が彼らを欲しがっているから、それを払えと言われた。

これを声に出して言うてみてください。“彼は私を愛している。彼は私を愛している。”

私たちのために、親愛なる代償を払ってくださったのでしょうか。ローマ8:31-32には、「では、これらのことについて、私たちは何を言おうとしているのでしょうか。神様が私たちに味方してくださるなら、誰が私たちに反対するのでしょうか。ご自身の御子を惜しむことなく、私たち全員のために差し出してくださいましたのです。また、ご自分とともにすべてのものを自由に与えてくださるのではないのでしょうか？」

友よ、もし神があなたに何かを遠慮するとしたら、それは御子であつたらう。もし、神様が、いや、それはダメだ。それは、御子であり、御独り子であつたはずです。32節には、“もし神が彼を惜しまないなら”、彼を引き留めないなら、あるいは彼を与えることについて「ノー」と言わないなら、“神は私たちにも、彼とともにすべてのものを自由に与えてくださるのではないだろうか”とあります。イエス様を与えてくださったのなら、家も与えてくださるはずです。イエス様を与えてくださったのなら、車も与えてくださるでしょう。イエス様を与えてくださったのなら、あなたの体を癒してくださるでしょう。イエス様をお与えになったとき、これらすべてを、イエス様の中でお与えになったのです。だから、“すべてはあなたのもの”と言ってくださいましたのです。

悪魔がいかに教会を欺き、嘘をついてきたかわかりますか？“そんなことで主に迷惑をかけたくない... 主の意志かどうかわからない...”という方もいらっしゃるよ。私たちがどれだけ愛して下さっているか、ほんの少しもわかっていないだけなのです

。主はすでに、私たちをどれほど愛しておられるかを示してくださっています。私たちにイエスを与えてくださったのです。それでいいじゃないですか。イエス様を与えてくださるなら、“... どうして、イエス様とともに、すべてのものを自由に与えてくださらないのでしょうか”。ハレルヤ！すべてを与えてくださったのです

私は、ヨハネによる福音書20章17節で、イエスが最初に死からよみがえったとき、女性たちがそこにいてイエスを見たときの出来事に感動しています。彼らは彼の足元にひれ伏して礼拝し、彼は言った。“私にしがみつかないでください、私はまだ父のもとに上っていませんから...”。彼は彼らに、“私の兄弟姉妹のところに行って、「私は私の父とあなたの父のもとへ、私の神とあなたの神のもとへ上る」と伝えなさい”と言っています。

代価は支払われ、私たちの調停者となるために、高みに昇られたのです。聖なる場所でご自身の血を捧げ、永遠の贖罪を得た。彼は彼らに、“私は私の父とあなたの父、私の神とあなたの神のもとに行く”と伝えてきなさい”と言っているのです。主がなさったことのおかげで、主は主イエスの父と同じように私の父であり、イエスの神と同じように私の神であり、イエスを愛するのと同じように私を愛してくださっていると言えるのです。

ただ、それを信じられるかどうかはわからない」という声もあります。どうしてそうなるのかがわからないんです。“見えないけど、信じられることってたくさんありますよね。理屈をこねたり、理解しようとするのをやめて、ただ信じてみる。

“信じたらどうやって見分けるの？”と聞かれるかもしれません。あなたの心に影響を与えます。あなたの信仰心が湧いてきて、大きく見えていたものが大きく見えなくなるのです。かつて疑問に思っていたことが、もう疑問に思わなくなる。なぜでしょうか？なぜなら、イエス様を与えてくださったのなら、どんな良いものでも与えてくださるからです。

**理由その4：イエス様が私たちが愛してくださっていることがわかるのは、イエス様が今も与えてくださっているからです。**

ご自分と最後の一滴の血を捧げ、死からよみがえられたときに全代価を支払われたとしても、それで終わりではないのです。今も与え続けている。

ヘブル7章25節には、“このように、ご自分を通して神に近づいている人々を完全に救うことができるのは、ご自分がいつも生きていて、彼らのために神と話をしているからです。”とあります。

イエス様は、地上での最後の時間を迎える直前、弟子たちと最後の過越の食事に臨まれました。夕食のある場面で、彼は立ち上がり、コートを脱いで、奴隷のようにタオルを巻いた。彼は水の入った洗面器を手に入れ、弟子たちのところへ行った。



今は宗教的に聞くだけではありません。師であり、神の子であり、教会の長であり、王の王、主の主であるイエスは、タオルを身につけ、弟子たちの前にひざまずき、水を取って、彼らの足を洗い始めたのです。次の作品、その次の作品へと進んでいった。ペテロに辿り着き、ペテロは「ダメだ!」と言った。あなたは私の足を洗っていない。"ピーターがそう思うのも無理はないでしょう。イエスがあなたの前にひざまずいて足を洗ってくれるという話です。イエス様は、"今、私が何をしているかはわからないが、後でわかるようになる"と言われました。ピーター「いいえ。私の足を洗うのはやめてくれ"イエスは、"私がそうしないのなら、あなたは私と何の関係もない"と言われました。主がペテロを気に入った理由のひとつは、彼が「よし、私を洗ってくれ」と言ったからです。私の足を洗ってください。風呂に入れろ"ペテロはすぐに悔い改めた。

イエスは「私は仕えられるために来たのではない」と言った。私は仕えるために来たのだ。"(ヨハネ10:45) これが愛でないとしたら、友よ、それは何だろう？王の王は、あなたと私のために執り成しをするために常に生きています。毎日、毎晩、父の右手におられる。彼は私たちの擁護者であり、弁護士であり、私たちの代表者です。私たちが主張しているのです。私たちのために立ち上がってくれる。私たちに代わって話してくれる。彼は私たちの告白の使徒であり、大祭司である。私たちが信仰を持って何かを告白すると、主は私たちがバックアップして "Yes "と言ってくれます。彼は、私たちの信仰と告白に関する調停者です。これは毎日です。私たちが愛し、私たちが大切に思ってください。

**理由5：私たちは、主が私たちが愛していることを、主が私たちに与えてくれた素晴らしい贈り物のおかげで知ることができます。**

神はギフトギバーであり、究極のギバーである。すでにお話しした最大のギフトは、イエス様です。イエスを与えてくれたが、それで終わりではない。また、聖霊を与えてくださいました。新車や家の話ではない。聖霊を与えてくださったのです。あなたが異言を話すたびに、神様はあなたを愛しています、と言っているのです。だから、聖霊を与えたのです。あなたが油注ぎを感じるたびに、主はあなたを愛していると言っているのです。

イエスは去り際に弟子たちを見て、「お前たち、みんな助けが必要だ」と言われた。しかし、私はあなたたちを孤児にするつもりはない。無力なあなたを放っておくわけにはいきません。私はあなたを愛しているので、父に祈り、父はあなたにもう一人の慰めを与えてくださるでしょう。彼は永遠にあなたと共に在るでしょう。彼はあなたの中に、あなたの上にいることになるのです。彼はあなたを教え、導き、これからのことを示すつもりです。彼は、あなたが説教し、祈り、預言し、朝髪を直すのを助けてくれるでしょう。通勤の運転を手伝ってくれる。あなたを愛しているからこそ、あなたの心臓の鼓動や呼吸のひとつひとつに、あなたを助けようとするのです。あなたの中に入ってきますよ。常に助けをもらうことができます。ああ、私たちが愛して下さっているんだ。聖霊を与えてくださったのですが、それだけではありません。聖霊では、聖霊の賜物

や顕現をすべて含める必要があります。(1コリント12章)なぜ、知識の言葉を与えてくださったのでしょうか？私たちが愛してくださっています。なぜ、私たちに知恵の言葉や霊を見分ける言葉を与えてくださったのでしょうか。なぜなら、私たちが愛してくださっているからです。なぜ、私たちに癒しのギフトを与えてくださったのでしょうか。私たちが愛してくださっています。そして、まだまだあります。

キリストは天に昇ったとき、人に贈り物をした。エペソ4:11-12には、「ある使徒、ある預言者、ある伝道者、ある牧師と教師たちをお与えになりました。彼の目的は、キリストの体に仕え、建て上げるという仕事のために、神の民を装備することでした。”なぜでしょうか？なぜなら、私たちが愛してくださっているからです。彼が与えてくれたもので、活用されるたびに、かわいくラッピングされたプレゼントだと思えるようにするといいいでしょう。クリスマスツリーの下にある小さな箱の話ではなく、人間、霊的な贈り物、ミニストリーの贈り物について話しているのです。

ソロモンが父ダビデの王国に君臨し始めたとき、ダビデを愛してやまなかったヒラムに、神の家を建てるために杉やその他のものがほしいと言った。ヒラムは使者を送り、「ソロモンよ、神がなぜあなたを王にしたのか知っているか」と言った。それは、その人たちが愛しておられるからです。”(2歴代2:11) 神は彼らに賢い王を与えた。

使徒と預言者を与えてくださったのです。それらはキリストの体への贈り物であり、神はこれらの贈り物を通してご自分を解き明かし、公開し、明らかにされるのです。これらは、あなたへのプレゼントです。

ケネス・ヘイギン兄のような人は、神が私たちが愛しているからこそ、遣わされたのです。大好きだから、大きなプレゼントをあげよう、と。何をあげればいいのでしょうか？使徒（これは大きな贈り物だ）、預言者、伝道者、牧師、教師も与えよう。本物のプレゼントを贈りたい。神は贈り物の仕方を知っている。

私たちが助け、教え、導き、祈りで導き、預言し、私たちが建て上げ、啓発し、修正し、指導するために賜物を与えてくださるのです。なぜでしょうか？私たちが愛してくださっています。私たちは、誰かが説教壇の後ろに座るのを見るたびに、神の言葉を聞くべきです。I love you. だから、ここに送ったんです。だから渡したんだ。君を愛しているから。

これを声に出して言うてみてください。“彼は私を愛している。彼は私を愛している。”

**理由その6：私たちが主から愛されていることを知ることができるのは、主が継続的に保護し、提供してくれるからです。**

主の守りがなければ、今までに何度殺されていたかわかりますか？まずは、自分が2歳の頃を思い浮かべてみてください。何度、御使いがあなたをあれではなく、こちらに誘

導したことでしょう。崖っぷちに立たされそうになったあなたを、主は引き戻してくれた。小さい頃は、記憶にないようなことがたくさん起こりますよね。何度、あなたを守り、惜しんでくださったことでしょう。起こっていないだけで、知らないこともたくさんあります。毎日、何を惜しんでいるのかわからなかったんですね。悪魔は私たちを殺そうとしていますが、私たちが神と共に歩むなら、悪魔は私たちに触れることができません。主は、私たちが悪魔の仕掛けるあらゆる計画、あらゆるものに打ち勝つことができるように助けてくださいます。私たちを守り、引き上げ、ガードし、導いてくれる。

そして、提供-あなたの必要を満たして下さっていますか？あなたが食事をするたびに、愛していると言っているのです。あなたが持っている一着一着の服で、神様は、あなたを愛しています、と言っているのです。横になって寝られる場所があるのか？神様は、*I love you* と言っているのです。お世話になってるんです。これからもお世話になりたいと思います。神は私たちを愛している。

**理由7：私たちは、家族や友人といった人とのつながりの中で、神様が私たちを愛して下さっていることを知ります。**

使徒言行録では、“自分の会社”のことを指しています。(4:23)これらは、神のつながりです。愛嬌があるからとか、イケメンだからとか、そういう理由だけで人に好かれ、関わってもらえると思っているのかもしれませんが、そのプライドを傷つけさせてもらいますよ。イスラエルの民は、ある時、申命記で「神があなたのためにあなたを選んだと思うな」と言われました。それは、あなたが一番強かったからではなく、一番少なかったからです。体が大きいからというわけではなく、反抗期だったんですね。それは、あなたがたの父祖に約束をされたからです。”(7:7-8) 主はあなたを愛し、あなたを選ばれました。私たちを選んでくださったのです。

良い友人や良い家族がいるか？他の種類も持っているように感じるかもしれませんが、それらは変わることができます。あなたには、あなたを愛し、あなたが生きるか死ぬかを気にかけてくれる人がいますか？それは、神様からの贈り物です。

いつもそばにいてくれる友人はいますか？夜中の3時に電話すれば、迎えに来てくれる。いつでも助けてくれる仲間です。それは、贈り物です。それは、あなたがとてもスムーズで滑舌がよくて素晴らしいからではありません。それは、神様があなたを愛し、あなたが一人で悩まないように一緒にいてくれる友達を持つことを望んでおられるからです。神様が超自然的に連れてこなければならぬ人がいるんです。見向きもされないし、あまり興味もない、と思っていたのに、主が動いて下さって、一気になぜか好かれるんです。彼らはなぜあなたが好きなかわからないが、好きなのである。神様があなたを愛しているからこそ、友達を与えてくださったのです。

あなたのために実際に祈ってくれる人たちを与えてくれたのです。世の中には祈りを必要としている人がたくさんいるので、自分や誰かの代わりに祈ってくれる人がいたら、それは好意であり、贈り物です。あなたのために時間を割いてくれたり、お金をかけて

くれたり、食事をおごってくれたり、服を買ってくれたりする友人を与えてくれるのです。それが神です。人間の本性は利己的であり、多くのクリスチャンでさえもかなり肉欲的です。しかし、神が人を動かし、人々があなたの周りに群がってきて、あなたを抱きしめて、「ワオ、あなたを愛しています」と言うのです。私たちはあなたの友達よ」神様はあなたを愛している。その中で、あなたのために動き、あなたを助け、あなたを励ましてくれています。

あなたは、世界で最高の体験をしていないときに、誰かが現れて、適切なタイミングで、適切なことを言ったことがありますか？

大臣がいつもいい字を書くとは限らない。時には悪い文字もあります。私は、世のため人のため、省庁から手を引くべきだ、人を傷つけている、と書いてくれる人がいました。国民に損害を与えている、国民を愛しているなら出て行けと言われました。

悪魔が人を奮い立たせて、間違っただけを間違っただけの時に言うように仕向けることがあります。聞いていると、落胆するようになります。

でも、神様はあなたのことをとても愛しているから、あなたの仲間4人を玄関に呼んで、「あなたは最高だ」と言わせるのです。あなたは、男です。私たちはあなたを愛しています。油注がれてるんですね。あなたは、神の人です。その時の言葉は、“あなたが持っている”あなたを支え、汲み上げ、築き上げ、そして助けてくれるでしょう。なぜ、このようなことをされるのでしょうか。なぜなら、あなたを愛しているからです。

**理由8：神様が私たちを愛してくださっていることがわかるのは、神様が私たちのために答えてくださったすべての祈りと、神様が私たちのために与えてくださったすべての時間があるからです。**

主の愛を疑ったり、疑ったりすることがあるでしょうか？ちょっと考えるだけでいいんです。何度、時には半信半疑で祈ったが、それがその時の自分のベストだったということがあったらどうか。転げ回って、経典の一字も書けず、ただただ情けなく振舞う。しかし、あなたはその時知っているベストを尽くしていたので、神様は、それはかなり近いよ、と言ってくれたのです。さあ、行こうか。人は合法主義を反芻する。昼食前に43回告白し、欽定訳語に書いてある通りに言わないと、何か法的な抜け道があり、それを見逃してしまうのではないかと恐れているのです。ダメだ！神様はあなたの心を見ています。信仰は心のものです。つまり、間違っただけで祈ったり、めちゃくちゃにしたり、グダグダ言ったりしても、神様は“言いたいことはわかるよ”と言ってくれるんです。

何かを信じているときに、間違っただけを言っただけで、なんだか主張が強くなってしまったことがありました。でも、正しいことが起きて、ああ、そうか、神様-そういうことだったんだ、と気づきました。私の言いたいことは分かっていたはずなんです。言い間違いだとわかっていたはずなのに。申し訳ございませんでした。そして、ええ、あなた

の言っている意味がわかりましたと言われました。グローリー!それは、私を愛してくださっているからです。

ただ、神があなたを愛しているから、神を賛美し、神に感謝するのです。他の誰かのことではなく、あなたのことです-彼はあなたを愛しています。

そう、わたしはあなたを永遠の愛で愛しているのだ」と言われました。だから、わたしは慈愛をもってあなたを引き寄せたのだ。”(エレミヤ31:3) 私たちを悔い改めに導くのは、神のいつくしみです。(ローマ2:4) 神の慈悲深さである。

悪魔は私たちに働きかけて、私たちが利己主義に屈し、感謝すべきものが何もないと思うまで混乱するように仕向けようとするのです。人は、神様は私のことなど気にしていない、と思うようになることがあります。これは、あなたが聞いたり、信じたりすることができる最悪の嘘の1つです。信じられませんか。私は一瞬でもそれを受け入れることを拒否する。神様は私への愛を証明してくれました。決して、1分たりとも疑ったり、疑われたりしてはいけません。彼の愛を疑うことは、彼を疑うことである。

主の愛があなたの中で強くなるにつれて、恐怖を押し出し、あなたは成功することを悟ります。

これを声に出して言うてみてください。

**死ぬんじゃない、生きるんだ。**

**経済的に潰れるのではなく、超えていくんです。**

**私の家族は壊されるのではなく、必ず成功させる。**

**私の子供たちは成功しますよ。私の結婚は成功しそうです。**

**私の省庁は成功する。私の教会は成功しますよ。**

**神様に愛されているからこそ、私は成功するのです。**

**私を愛してくれている、頼もしい。ハレルヤ!**

この祈りを捧げます。

父よ、あなたの善意に感謝します。あなたの愛に感謝します。あなたが私の心の中でこれらのことを展開し、私の記憶にもたらし、あなたが本当に私を気にかけてくださっていることをはっきりと、力強く見ることができるよう助けてくださることを祈ります。あなたが私のためにしてくれたこと、してくれていること、そして、あなたが私のためにする予定のすべてのことを、私が見ることができるよう助けてください。私がそれを永遠に優先し、聖なるものに生きることができるよう助けてください。主よ、私を愛してくださっていることに感謝します。愛してます。あなたが私のためにしてくれたことに感謝します。私をこんなに愛してくれてありがとう。愛してます。





# ゴッド・ラブズ・ミー

神様はあなたを愛しています。彼は本当に、本当にあなたを愛しています-彼がイエスを愛しているように。そして、主があなたを愛していると知れば、あなたの疑問や不満、揺らぎが取り除かれるのです。

あなたの信仰心が湧き上がり、あなたは必ず成功すると知っています。あなたが特別だからではなく、主があなたを愛しているからです



キース・ムーアは、ミズーリ州ブランソンとフロディア州サラソタにあるムーア・ライフ・ミニストリーとフェイス・ライフ・チャーチの創設者兼代表者です。

本書は、Moore Life Ministries/Faith Life Churchのパートナーにより、無料で提供されています。



*Moore Life Ministries*  
6009 Business Blvd.  
Sarasota, FL 34240  
(941) 702-7390 | [www.flintl.org](http://www.flintl.org)

NO CHARGE - SEED



BK25

ISBN: 978-1-940403-01-4